

■寺本婉雅 日本人として初めてチベットに入り、「大蔵經」はじめ、チベット語の文献を将来した。

てらもとえんが

学問のすすめ1872＝ 愛知県海東郡で生まれる。

明治6年政変 1873＝ 1歳：

明治14年政変1881＝ 9歳：

本願寺の僧となり、やがて、チベット行きを志す。

帝国憲法発布1889＝17歳：

帝国議会始・1890＝18歳：

日清戦争始・1894＝22歳：

子規句歌革新1898＝26歳：_神戸から薩摩丸に乗船、上海へ。

Bushidou・・1899＝27歳：_*ダルツェンドで、初対面の能海寛と会い、ともに、リタンを経て、パタンに至り、日本人として初めてチベットの地に入るが、それ以上進めず、ダルツェンドにもどり、能海と別れて、重慶で越年、

ビノノ国産化・1900＝28歳：_帰国し、次の機会を窺ううち、義和団事件が発生、政府命令で、通訳として北京に赴き、清朝皇室に出入り、清朝の立場を守り、仏教寺院とラマ僧の窮状を救って評価され、他方、日本軍からチベット語研究の特典を取得し、事変で荒らされた北京の黄寺・資福院両寺でチベット大蔵經を入手すると、慶親王の計らいで、日本に持ち帰ることに成功。黄寺分は宮中に献じられ東大図書館に移管、資福院分は大谷大学に寄贈。

田中正造直訴1901＝29歳：_チベット行きを実現すべく、再び、北京に赴き、雍和宮貫主アキャ・フトクト一行8人の来日を推進、

教科書疑獄・1902＝30歳：_北京のコレラ流行で、一旦帰国。雍和宮から促されて、再び、北京に赴き、

日比谷公園・1903＝31歳：_アキャ・フトクト一行とともに、青海のクムブム寺に着き、チベット語・モンゴル語を学ぶも、いつまでたっても思いは通じず、

日露戦争終・1905＝33歳：_*人事頼むべからずと決意し、クムブム寺を出て、念願のラサ入りを果たす。

満鉄発足・・1906＝34歳：_*北京を出発、西安を経て、クムブム寺に赴き、偶然、モンゴルからチベットに戻る途中のダライ・ラマ13世一行に遭遇し、謁見。日本とチベットを結ぶ貴重な機会となる。

アラキ創刊・1908＝36歳：_清朝の要請を受入れて結局ラサには戻らずに山西省の五台山に移った13世を訪ねて、謁見、大谷光瑞の名代として、日本から大谷尊由が来ることを伝え、まもなく、13世と尊由の会見が実現。以後、日本仏教界のチベットの窓口は東本願寺派から西本願寺派に移る。さらに、13世に従って北京に移り、13世が西太后に謁見後、光緒帝・西太后が相次いで死去し、皇后も殉死、13世から「トブタンゾパ」のチベット名を授けられる。北京を立つ13世見送って、

伊藤博文暗殺1909＝37歳：_*帰国。以後、学究生活に入り、2度とチベットの地を踏まず。

明治天皇没・1912＝40歳：

21ヶ条要求・1915＝43歳：大谷大学教授となり、チベット語と仏教学を講じる。

ロシア革命・1917＝45歳：追悼会代表として「能海寛遺稿」を編集し、刊行。

原敬首相暗殺1921＝49歳：

円本時代始・1926＝54歳：

満州事変・・1931＝59歳：

芥川直木賞始1935＝63歳：

日中戦争始・1937＝65歳：

大政翼賛会・1940＝68歳：_病没した。